

Global Digital Transformation Partner

# 2021年3月期 第2四半期決算 補足説明資料



2020年10月30日

トランスコスモス株式会社

1. エグゼクティブサマリ
2. 連結損益計算書サマリ
3. セグメント別業績サマリ
4. 連結売上高の増減分析
5. 連結営業利益の増減分析
6. 単体サービス 営業利益の増減分析
7. セグメント別 四半期業績（2020年7-9月期）
8. 連結四半期業績の推移
9. 親会社四半期純利益の増減分析
10. 連結貸借対照表の概要
11. 連結キャッシュフロー計算書の概要
12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
13. 2Q 活動トピックス

# 1. エグゼクティブサマリ

## 成果

- 売上高は前年同期比**+7.8%**の増収となり、高い成長率を維持
- 受託業務の採算性改善で売上総利益率は**+2.7ポイント**上昇
- 販管費は新型コロナウイルス対策に伴う費用増など特殊要因はあったものの、引き続き、売上・収益状況を踏まえた**コストコントロールを維持**
- 営業利益は全セグメントで増益を確保し、前年同期比**+39億円**の増益

## 課題

- ポストコロナでの成長性・収益性の維持・向上

## 2. 連結損益計算書サマリ

- 売上高：全セグメントで受注が増加し増収
- 営業利益：全セグメントで収益性が改善し増益
- 経常利益：営業利益の増加により増益
- 親会社四半期純利益：営業利益・経常利益の増加により増益

単位：百万円	2020年3月期 2Q累計		2021年3月期 2Q累計		増減	
		(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	151,945	100.0%	163,734	100.0%	11,789	7.8%
売上原価	126,217	83.1%	131,673	80.4%	5,455	4.3%
売上総利益	25,727	16.9%	32,061	19.6%	6,333	24.6%
販管費	21,157	13.9%	23,575	14.4%	2,417	11.4%
営業利益	4,569	3.0%	8,485	5.2%	3,915	85.7%
営業外損益	-209	-0.1%	191	0.1%	401	-
経常利益	4,359	2.9%	8,677	5.3%	4,317	99.0%
特別損益	1,467	1.0%	325	0.2%	-1,142	-77.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,351	2.2%	5,569	3.4%	2,217	66.2%

### 3. セグメント別業績サマリ

- 単体サービス：増収・増益。既存の大型業務の拡大、大型スポット業務の獲得などで受注が増加し、採算性は改善
- 国内関係会社：増収・増益。前期中の新規連結によるプラス影響、上場子会社の好調な業績などが牽引
- 海外関係会社：増収・増益。中国・韓国・東南アジアの子会社が好業績を維持

単位：百万円		2020年3月期 2Q累計		2021年3月期 2Q累計		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	111,372	73.3%	118,287	72.2%	6,915	6.2%
	国内関係会社	12,758	8.4%	18,872	11.5%	6,113	47.9%
	海外関係会社	32,518	21.4%	32,568	19.9%	49	0.2%
	セグメント間取引消去	-4,705	-3.1%	-5,994	-3.6%	-1,289	-27.4%
	<b>(合計)</b>	<b>151,945</b>	<b>100.0%</b>	<b>163,734</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,789</b>	<b>7.8%</b>
セグメント 損益	単体サービス	3,344	73.2%	5,699	67.2%	2,355	70.4%
	(利益率)	3.0%		4.8%			
	国内関係会社	873	19.1%	1,700	20.0%	827	94.7%
	(利益率)	6.8%		9.0%			
	海外関係会社	351	7.7%	1,078	12.7%	727	206.9%
(利益率)	1.1%		3.3%				
セグメント間取引消去	0	0.0%	6	0.1%	5	767.9%	
<b>(合計)</b>	<b>4,569</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,485</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,915</b>	<b>85.7%</b>	

## 4. 連結売上高の増減分析

- 売上高 増加：+11,789百万円（+7.8%）

単体サービス

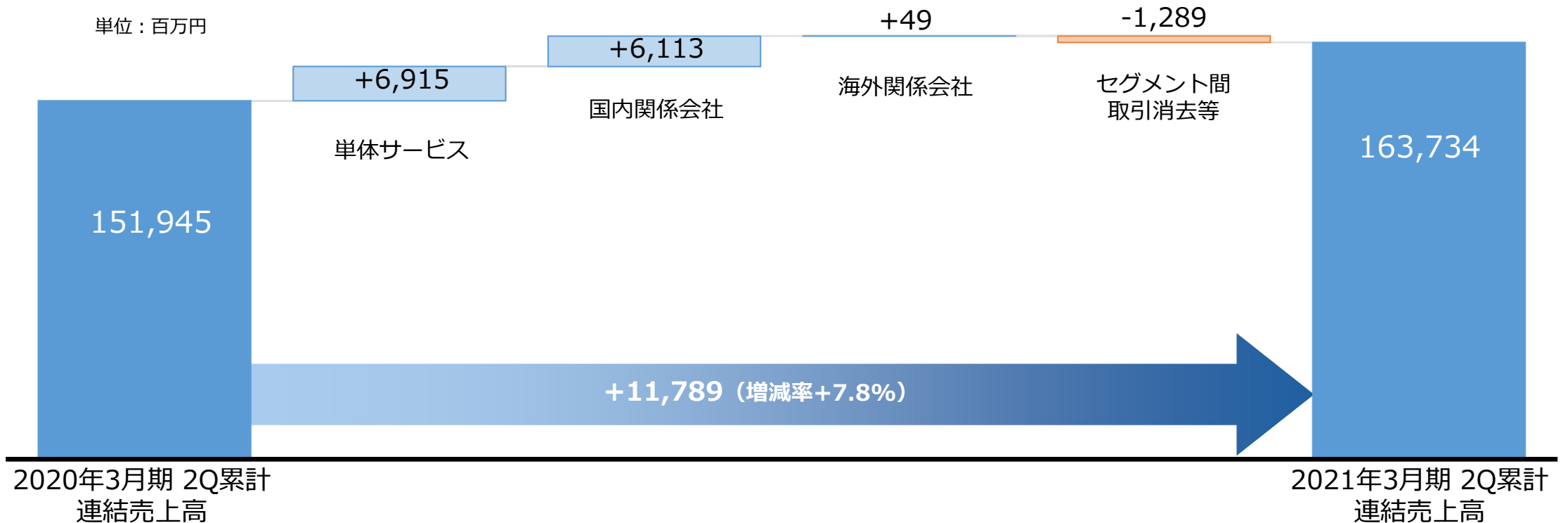
既存の大型業務の拡大、大型スポット業務の獲得などで受注が増加し増収

国内関係会社

一部子会社を前3Qから新規連結したことによるプラス影響、上場子会社の売上増加などで増収

海外関係会社

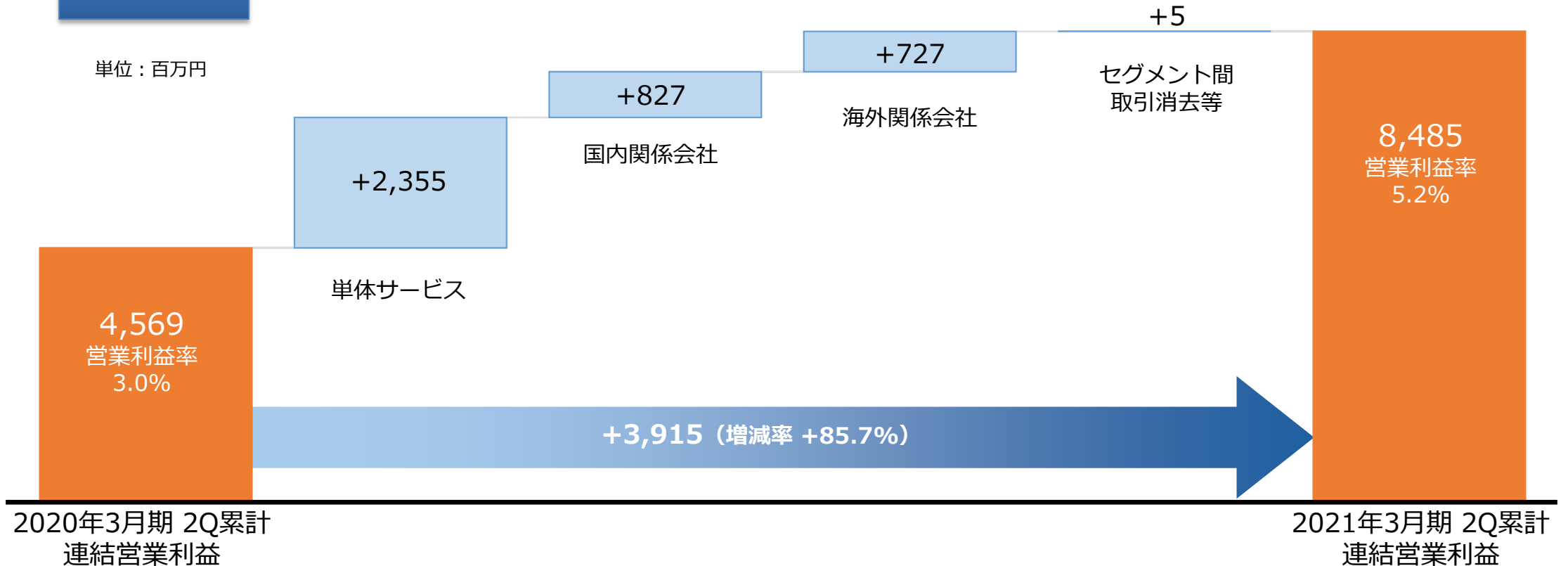
中国・韓国子会社の為替影響による売上減少はあったものの、東南アジア子会社の売上増加などで増収



# 5. 連結営業利益の増減分析

- 営業利益 増加 : +3,915百万円 (+85.7%)

単体サービス	既存の大型業務の採算性改善、大型スポット業務の獲得などで増益
国内関係会社	一部上場子会社の収益性改善、一部子会社を前3Qから新規連結したことによるプラス影響などで増益
海外関係会社	中国・韓国子会社の収益性改善、東南アジア子会社の黒字維持などで増益

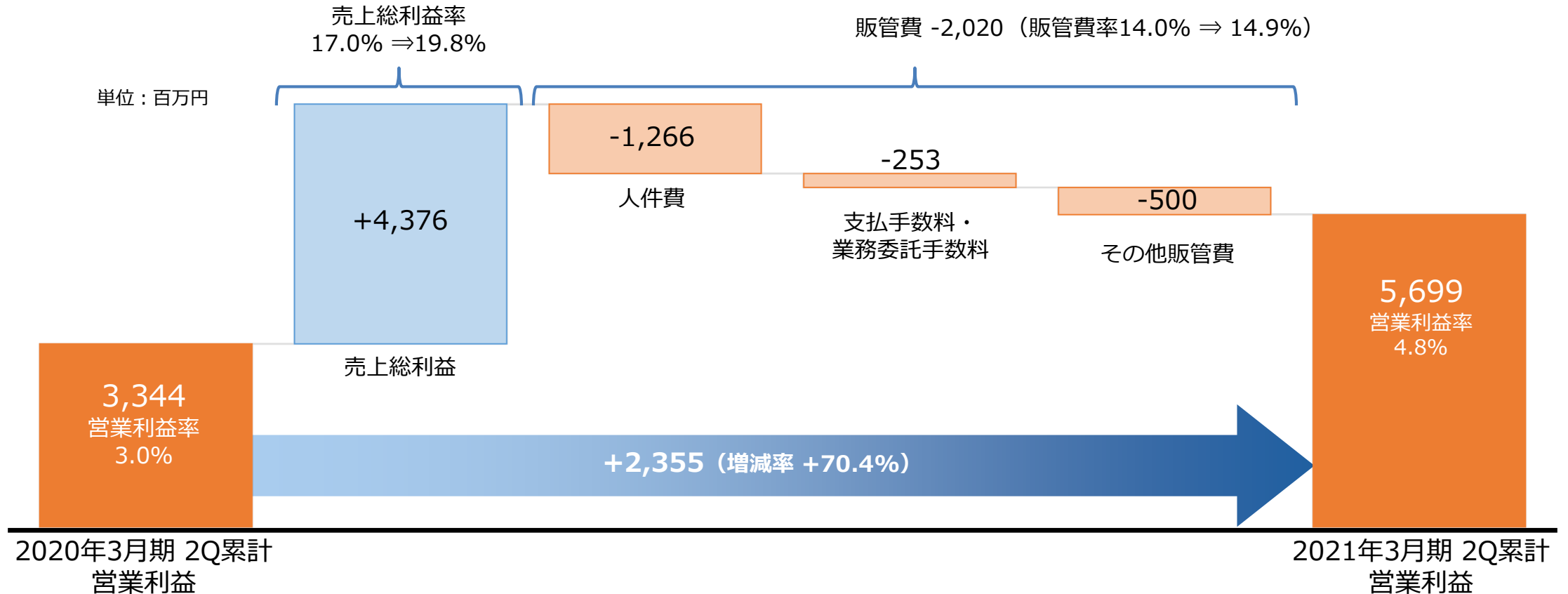


# 6. 単体サービス 営業利益の増減分析

- 営業利益 増加 : +2,355百万円 (+70.4%)

**売上総利益** 既存の大型業務の採算性改善、大型スポット業務の獲得、退職率の低下などで収益性が改善し、売上総利益率は2.8ポイント改善

**販管費** 池袋第二本社開設など事業拡大に伴う販管費増に加え、新型コロナ対策費用といった特殊要因により2,020百万円増加し、販管費率は0.9ポイント上昇。ただし、特殊要因を除くと、コストコントロールを維持





## 7. セグメント別 四半期業績 (2020年7-9月期)

- 売上高：全セグメントで売上が増加し、+6,599百万円、+8.4%の増収。当1Q減収だった海外関係会社は増収転換
- 営業利益：全セグメントで収益性が改善し、+1,940百万円、+60.6%の増益

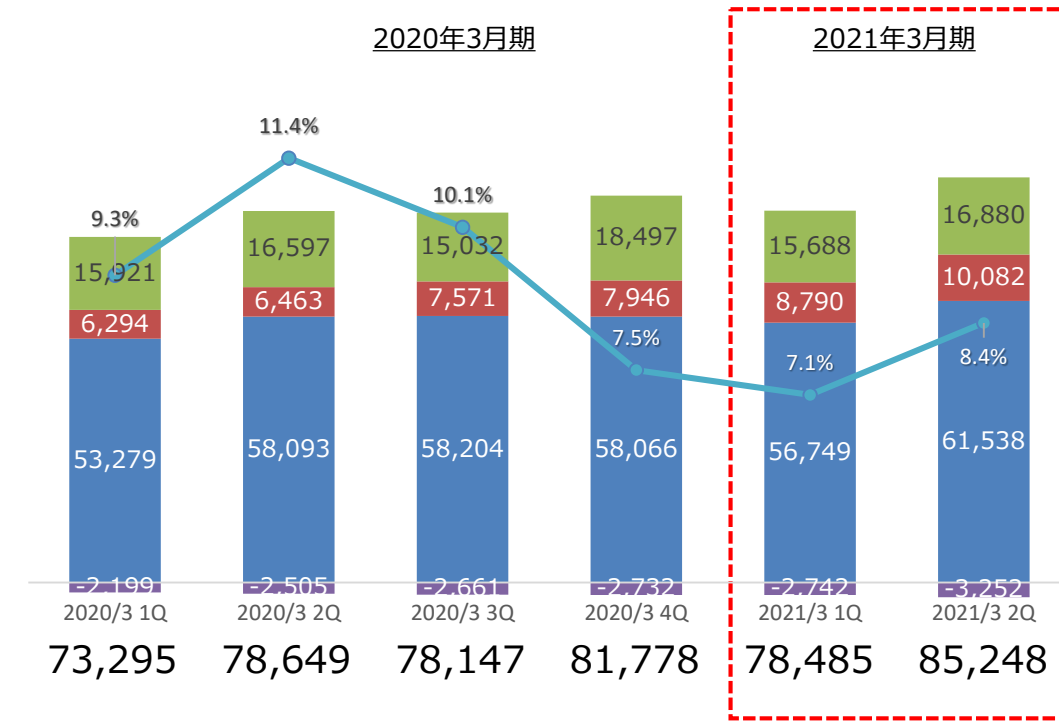
単位：百万円		2020年3月期 2Q		2021年3月期 2Q		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	58,093	73.9%	61,538	72.2%	3,444	5.9%
	国内関係会社	6,463	8.2%	10,082	11.8%	3,618	56.0%
	海外関係会社	16,597	21.1%	16,880	19.8%	282	1.7%
	セグメント間取引消去	-2,505	-3.2%	-3,252	-3.8%	-746	-29.8%
	<b>(合計)</b>	<b>78,649</b>	<b>100.0%</b>	<b>85,248</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,599</b>	<b>8.4%</b>
セグメント 損益	単体サービス	2,353	73.5%	3,342	65.0%	989	42.1%
	(利益率)	4.1%		5.4%			
	国内関係会社	400	12.5%	1,083	21.1%	683	170.7%
	(利益率)	6.2%		10.7%			
	海外関係会社	444	13.9%	716	13.9%	271	61.0%
	(利益率)	2.7%		4.2%			
セグメント間取引消去	3	0.1%	0	0.0%	-3	-92.3%	
<b>(合計)</b>	<b>3,202</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,143</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,940</b>	<b>60.6%</b>	

# 8. 連結四半期業績の推移

- 売上高：スポット業務の影響でバラつきはあるものの高成長率を維持
- 営業利益：右肩上がりに収益性が改善しており、四半期営業利益率は6%台へ

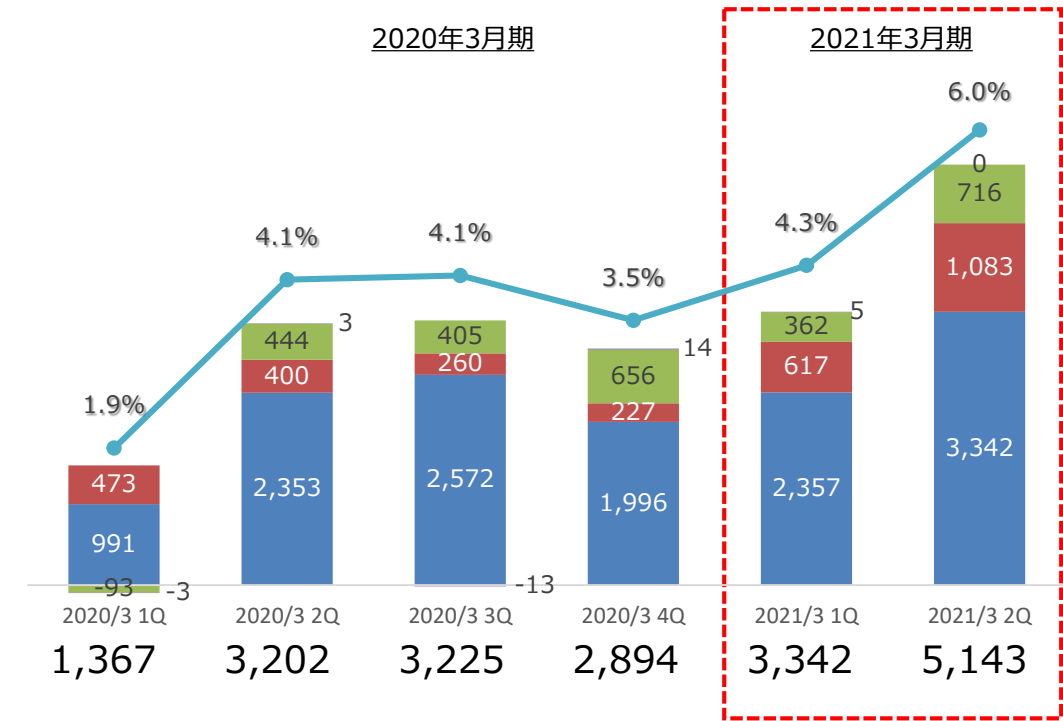
## 売上高

単位：百万円 ● 売上高成長率



## 営業利益

単位：百万円 ● 営業利益率

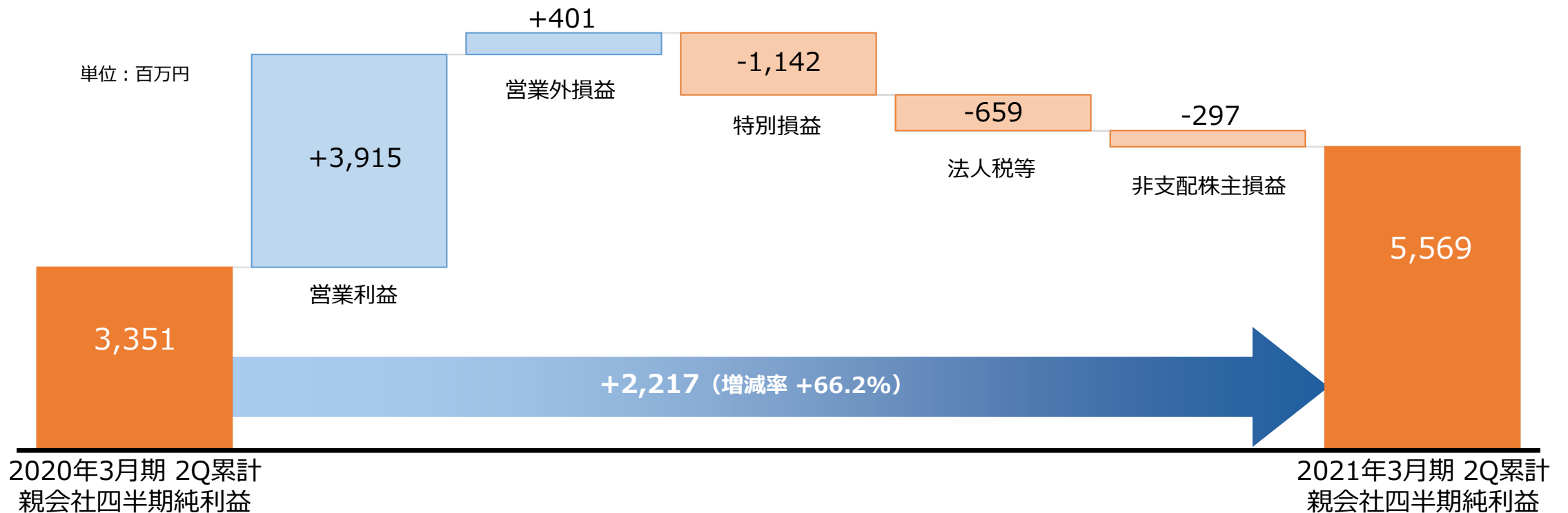


■ 単体サービス ■ 国内関係会社 ■ 海外関係会社 ■ セグメント間消去等

# 9. 親会社四半期純利益の増減分析

- 親会社四半期純利益 増加：+2,217百万円（+66.2%）

営業外損益	主に助成金収入の増加、持分法投資損失の減少などで401百万円増加
特別損益	主に前年同期に計上した投資有価証券売却益の反動などで-1,142百万円減少



# 10. 連結貸借対照表の概要

- 資産：単体での借入金増加による「現金及び預金」が増加、「受取手形及び売掛金」が増加
- 負債：単体での新規借入による「長期借入金」が増加
- 純資産：「利益剰余金」が増加

単位：百万円	2020年3月末	2020年9月末	増減額	
流動資産	96,922	114,774	17,852	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現預金+11,865</li> <li>・ 受取手形及び売掛金+5,003</li> </ul>
固定資産	47,062	52,232	5,170	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資有価証券+2,463</li> <li>・ 関係会社株式+4,428</li> <li>・ 関係会社出資金-5,034</li> <li>・ 繰延税金資産+1,692</li> </ul>
資産合計	143,985	167,007	23,022	
流動負債	63,432	64,529	1,097	
固定負債	2,583	19,403	16,819	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買掛金-922</li> <li>・ 未払法人税等+1,706</li> </ul>
負債合計	66,015	83,932	17,917	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期借入金+16,149</li> </ul>
純資産	77,969	83,074	5,105	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益剰余金+3,646</li> <li>・ その他の有価証券評価差額金+1,856</li> </ul>
負債・純資産合計	143,985	167,007	23,022	
現預金	35,012	46,877	11,865	
有利子負債	13,432	29,062	15,630	
Netキャッシュ*	21,579	17,815	-3,764	

\*Netキャッシュ=現預金-有利子負債

# 11. 連結キャッシュフロー計算書の概要

- 営業C/F：主に「税金等調整前四半期純利益」が増加
- 投資C/F：主に「投資有価証券の売却による収入」が減少
- 財務C/F：主に「長期借入れによる収入」が増加

単位：百万円	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	増減額
営業キャッシュフロー	1,185	2,530	1,344
投資キャッシュフロー	-2,925	-4,023	-1,097
財務キャッシュフロー	-3,620	13,565	17,185
現金同等物残高	30,322	46,683	16,361
フリーキャッシュフロー*	-1,739	-1,493	246

\*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

# (ご参考) 保有上場銘柄

- 投資ポートフォリオはモニタリングを通じた定期的な見直しを強化

トランスコスモス単体の保有上場株式

単位：百万円

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価
関係会社株式	株式会社Jストリーム	東証マザーズ	4308	23,398
	応用技術株式会社	東証JQS	4356	4,961
	eMnet Inc.	KOSDAQ	123570	2,527
	PFSweb Inc.	NASDAQ	PFSW	2,451
投資有価証券	株式会社メニコン	東証1部	7780	735
	Twilio Inc.	NYSE	TWLO	431
	株式会社ジーニー	東証マザーズ	6562	409
	日本航空株式会社	東証1部	9201	85
	株式会社MTG	東証マザーズ	7806	29
	ミズノ株式会社	東証1部	8022	17
	株式会社ジャックス	東証1部	8584	10
	The RealReal, Inc.	NASDAQ	REAL	3
合計				35,061

グループ会社保有の主要上場株式

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価
投資有価証券	北京騰信創新網絡營銷技術股份有限公司 (TensynPRC)	ChiNext	300392	6,638

※時価は2020年10月29日終値で計算。PFSweb、Twilio、The RealRealは10月28日終値で計算。

# 12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

## ● 設備投資額・減価償却費

単位：百万円	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	増減率
設備投資額	2,500	2,644	5.8%
減価償却費	1,664	1,945	16.9%

## ● 従業員数

	2020年3月末	2020年9月末	増減
連結従業員数	32,666	34,184	1,518
(臨時従業員数)	25,850	27,589	1,739
単体従業員数	15,173	15,983	810
(臨時従業員数)	21,430	22,778	1,348

## ● サービス拠点

	2020年3月末	2020年9月末	増減
サービス拠点	171	168	-3
(国内サービス拠点)	66	67	+1
(海外サービス拠点)	105	101	-4

### ● 設備投資

主に単体サービスでの第二本社開設、センター・事業所の開設・拡張などで増加

### ● 減価償却

主に単体サービスにおいて過年度にセンター・事業所を開設・拡張した影響などで増加

### ● 従業員

主に単体で新卒採用および業務拡大に伴って従業員数・臨時従業員数が増加

### ● サービス拠点

国内はBPOセンター福岡呉服町を新設。海外は、マレーシアにクアラルンプール第二センターを新設。韓国、北米、欧州の拠点では一部減少

\*サービス拠点は、自社サービス拠点のほかに本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

# 13. 2Q 活動トピックス

## ● 新型コロナウイルス感染症に関する当社の基本方針と実施している対応

### 基本方針

#### ● 人命を最優先

従業員およびその家族ならびに近隣社会、お客様企業、関係先などの人命保護を最優先とします。

#### ● 感染拡大を防止

予防対策を整え、防疫資材などを確保し、当社全体および社会的責任の観点から関係先およびお客様企業などへの感染防止に努めます。また、従業員に感染者が発生した場合は、官公庁の指示に従いながら情報を社内外に開示することにより感染拡大の防止をはかります。

#### ● 事業の継続

法令等および行政の指導等を遵守しつつ、業務継続に必要な体制を構築して、業務の継続に努めます。特に、お客様企業への商品・サービス提供にあたっては、お客様企業の対応方針や当社への要請事項を尊重し、業務の継続に必要な措置を講じます。

### 実施している対応

#### 当社センター拠点における感染拡大予防策

- 出勤前の検温などの健康状態の確認を徹底
- 咳や発熱などの症状、嗅覚・味覚障害が生じた場合の出勤停止の徹底
- 基本的な感染症対策（マスク着用、手洗い、消毒アルコールの常時設置、咳エチケット、共有物の消毒など）の徹底
- クラスタ（集団感染）発生防止対策（テレワークの推進、換気・ソーシャルディスタンスの推進、など）



#### 感染者発生時の対応

従業員の安全確保と不安の解消、社内外への感染防止を最優先に、感染者の隔離、濃厚接触者の特定・出勤停止指示、消毒などの必要な対策と関係者へのコミュニケーション・情報開示を速やかに実行。

#### 間接業務の在宅シフト

間接業務については、「業務上、在宅対応出来ない従業員・出来ない日」を除き、原則在宅勤務ベースの業務運営に切り替え、そのために必要な環境を整備。

#### お客様企業とのBCP（事業継続計画）の推進

3密環境が生まれやすい状況を可能な限り回避するため、テレワーク化、業務の自動化（RPA、ボット対応）などの打ち手を積極的に提案し推進。お客様企業と協議のうえ、必要に応じ、業務の縮退についても検討。



# 13. 2Q 活動トピックス

## 新たに設計した運用フローで生産性・品質の維持を実現する在宅コンタクトセンターサービスを提供開始

- 事業継続性の向上、ファシリティ削減によるコスト最適化の2点を掲げ、お客様企業ごとに最適なプランを提案
- 在宅化にあわせて音声AIボットと組み合わせたり、音声すべてを有人チャットとチャットボットで対応するなど統合的にアセスメント
- これまで以上に従業員の安心・安全の確保と働き方の多様化を促進



### 在宅BCP活用

パンデミックや台風等に高い事業継続性を誇る在宅BCP活用をお客様ごとにご提案



### 強固なセキュリティ基盤

センターレベルのセキュリティをベースに、お客様のご要望に応じたカスタマイズが可能



### ヒト&デジタルで品質・生産性維持

transpeechやLINE WORKSを掛け合わせた在宅型運用フローを構築し、品質/生産性を維持



## SaaS型「DEC CMS (デック シーエムエス)」 LINEとWebのチャンネル横断型コンテンツ配信 プラットフォーム機能を追加

- 独自のSaaS型デジタルマーケティングプラットフォーム「DEC CMS」にLINEのメッセージ配信機能の提供を開始
- Webサイト運用とLINEのメッセージ配信の管理画面を統一化、コンテンツ一元管理およびユーザー属性の共通利活用によるOne to Oneコミュニケーションの実現など、運用効率とマーケティング効果の最大化を支援

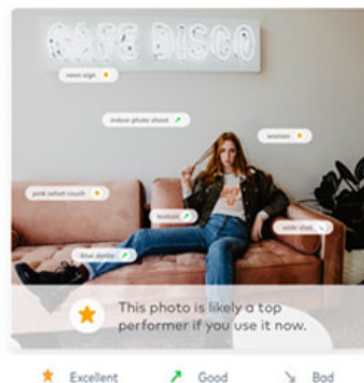


LINEで繋がった顧客の年齢、好み等に応じてコンテンツの配信が可能

# 13. 2Q 活動トピックス

## 画像解析AIをコアとしたInstagram統合ソリューション「Dash Hudson」の日本国内における独占販売契約を締結

- インフルエンサーマーケティングで有名な米国ファッションECモール「Revolve」などが活用しているビジュアルマーケティングソフト
- お客様企業やブランドのInstagramのフォロワー数獲得やエンゲージメント率向上とソーシャルコマースを支援
- 本販売契約を通じてECワンストップサービスを強化し、ソーシャルメディアを含むマルチチャネルでの売上拡大を支援していく



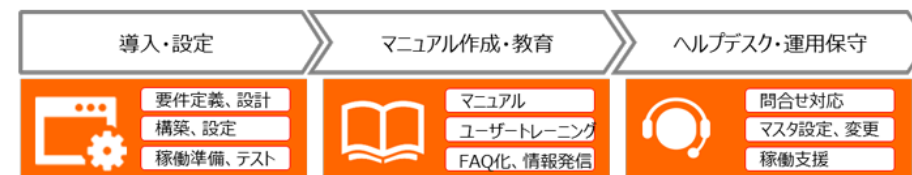
DASH HUDSON



## 株式会社コンカーとアウトソーシングパートナー契約を締結

- 国内売り上げNo.1・世界6,600万人が利用する出張・経費管理ソリューション「SAP Concur」のシステム導入から設定、経理処理からヘルプデスクまで幅広い支援が可能
- 「SAP Concur」のより効率的な運用によって、経費精算にかかわる業務のさらなるデジタル化の推進と、業務効率化を支援

<導入プロセス>



<運用プロセス>



# 13. 2Q 活動トピックス

## ▶ サービスの開発・強化

- Salesforce Marketing Cloud とLINE公式アカウントを連携したマーケティング活用を推進する運用専門チームを設立
- 企画戦略から運用改善までを行うInstagram運用サービスを強化
- SaaS型 DEC CMS（デック シーエムエス）にて、マルチチャネル対応のヘッドレスCMSの提供を開始
- EC事業者の課題を解決する業務コンサルティングサービスの提供を開始
- 台湾において在宅コンタクトセンターサービスの提供を開始
- “LINEの休眠している友だち”のアクションを促す「クリックZOSAN」の提供を開始

## ▶ 体制の強化（アライアンス・パートナー・M&A・拠点など）

- 製薬業界における製造原文書と申請文書の間にある微細な齟齬を自然言語技術で検知する技術を保有するディビイとパートナーシップを締結
- クアラルンプールにオペレーションセンターを併設する第二拠点を開設
- トランスコスモスチャイナ、世界的に有名な水栓器具メーカーのモーエンと戦略的業務提携、オンライン業務を拡大
- デジタルマーケティングサービス部門にてニアショアセンターでの働きかたを自由化
- トランスコスモスアメリカ、ゼンリンUSAと協業しビッグデータを活用した営業支援サービスを提供開始
- 「いますぐ始めるKARTEオンラインチャット」構築でプレイドと協業

# 13. 2Q 活動トピックス

## ▶ サービスの提供実績

- 北海道下川町の町政情報配信や移住促進におけるLINEの活用を支援開始
- 川越市にてチャット、Webフォームによる申請書事前作成の実証実験を開始
- サンリオ Webサイトの自動応答による問い合わせサービスの構築・運用を支援
- 「ロボティクスマーケティング for ロボホン」を東京都の新型コロナウイルス軽症者受け入れ施設へ納入

## ▶ 受賞・認定・その他企業活動など

- トランスコスモスチャイナ、「2020年度中国カスタマーセンター・プロフェッショナルアウトソーシング10大オススメブランド」に選出
- 沖縄県に首里城再建支援のための寄付を実施
- 中国最大のECモールTMALLから5つ星評価を5年連続で獲得
- エクスペリエンス アクイア アワードにおいて、「上半期商談最多賞」、「アクイア認定取得者最多賞」の2冠を獲得
- トランスコスモスBPOチャイナ、園才人力会社が主催する第7回最優秀雇用主コンクールにおいて「大学生最注目企業賞」を受賞
- 「LINE公式アカウント Basic」認定資格保有者が100人を突破
- 米ガートナーが発刊したMarket Share: IT Services, Worldwide 2019、BPO市場において、世界で14位を獲得
- エベレストグループが発表したビジネスプロセスサービスプロバイダランキング「The Everest Group BPS Top 50™」において Top 3 APAC Providersに選出



## IRに関するお問い合わせ

トランスコスモス株式会社

本社管理総括 管理本部 商事法務部 IR室

E-Mail. [ir\\_info@trans-cosmos.co.jp](mailto:ir_info@trans-cosmos.co.jp)

- 本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあり得ます。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。
- 本資料では、金額は百万円未満切捨、%は小数点以下第2位を四捨五入で表記しています。